

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-9-12 西葛西トーセイビル4F TEL. 03-5674-7837 FAX. 03-5696-6341 <http://www.staff-alpha.co.jp>

2016年度新卒内定者決定！ 史上最強の新卒クインテット入社。

スタッフアルファが新卒採用を開始して9年、今年は5名の新卒内定者が決定した。9月28日のアルファプレミアムで内定式を終え、11月27日、28日にはアルファココロ合宿（内定者合宿）を千葉県九十九里浜にて開催。30項目からなるクレド、アルファココロに関するレクチャーを代表松山、取締役部長富田より実施した。今年の内定者の強みは、なんといってもチームワークの良さである。合宿でも、夕食の準備やターザニア（千葉県長生郡）でのアトラクション、社員に対する内定者5人のPR動画の作成な

どで、5人で仲良く協力する姿が垣間見えた。入社後も様々な場面でチームワークを発揮し、5人で力を合わせて共に成長してほしいものだ。今後5人は入社前研修を経験し、4月1日の入社式を迎える。昨年度以前の新卒社員たちに続き、彼らの奮闘ぶりに期待したい。



1000人で立ち向かう怒濤の12月イベントラッシュ！

イベント会社としての成長の試練を超えてゆけ！

例年クリスマス～年末にかけ、他月にも増してイベントが盛んになり、案件増に嬉しい悲鳴が聞こえてきがちな12月。しかし、2015年の12月はこれまでのそれとは一味違った。新規お取引様の増加に伴い、当社は現在これまでに無い多忙さを極めているのだ。中でも、今年の12月にオープンした大型商業施設における年間サポート業務の開始は、間違いなくその台風の目となっていると言える。当社は2015年4月にも同種の大型商業施設のイベントサポート業務を受託したが、続いてこちらの施設もお手伝いする運びとなった。同施設は西東京エリア最大級のショッピングセンターである。当社と

してもこういった施設のイベント業務を開業から担えることは非常に光栄な事であり、業務にあたる社員のモチベーションも現在かなりアップしている。他、諸案件を含めると、12月の稼働スタッフ数は裕に1000名を超える。前月の2倍以上の人数であるから驚きである。「月に1000名のスタッフを稼働させながらも、イベントを成功させ続ける」ということはイベント・プロモーション制作会社として更なる高みへ向かう為のひとつの試練のようにさえ感じる。「かつて無い」を乗り越え続けることで、企業として成長していけると信じ、スタッフアルファはこの師走を駆け抜ける。



東京中の小学校に通い続けた半年間。 下水道局「でまえ授業」事務局、完遂！

当社は2015年4月、とある大型案件を受注。東京都下水道局様が実施している小学4年生を対象にした環境出張授業、その名も「でまえ授業」の事務局総合運営だ。東京都内中、数百の小学校に対し、下水道の仕組みや役割の説明等、環境にやさしい行動を学ぶ授業を、まさに「でまえ」していく。でまえ授業自体の稼働は6月～10月（夏休み除く）。授業に向けた制作物や運用マニュアル・シナリオの制作はもちろん、授業を届ける『でまえメンバー』の教育・管理及び、各小学校へ授業実施の意向を伺う事務局交渉や、

訪問日程の調整から授業の実施までをトータルで請け負った。業務着手から約半年、走り続けてきたでまえ授業は11月末をもって無事終了となった。児童たちにきちんと下水道の大切さを訴えることができたのか。約半年、担当者は苦悩したという。それは担当者だけでなく、実際に子どもたちのもとへ授業を届ける『でまえメンバー』も同様だ。そして、この熱い思いは既に未来に向かっていている。試行錯誤で駆け抜けた今年から一つ昇華した、来年度の授業がとても楽しみである。



シニアスタッフの積極的採用開始。 催事管理業務において10名活躍中。

昨年よりスタッフアルファは商業施設における催事管理業務を受託した。現場管理者として出店者とコミュニケーションを取りながら、出展期間中、円滑に催事を行えるようにオペレーションしている。現在約20名以上の専属スタッフが活躍してくれているが、特に定年退職後のシニア層の採用に力を入れている。最近のシニア層は活動的で、現役のうちは、この業務に従事し続ける可能性が高いことと、そして何より、彼らには長い社会人生で培われた冷静な判断力と経験があるからだ。実際、現

在活躍しているシニアスタッフは現場において管理者として抜群の存在感を示している。当社の催事管理業務担当者は、このシニア層スタッフの活躍に「やる気と熱意があり、現場での気配りも良くできている」と評価している。現在、10名のシニアスタッフが活躍中だが、今後も積極的に採用を行っていく。ゆくゆくはシニア層の組織化をも含め、スタッフアルファの新たな事業にも従事してもらうことも検討中。今後のビジネスチャンスはこのシニア層が握っていると言っても過言ではないだろう。



オフィス拡張！ お客様の「居心地の良い会社」を追求。

ビフォーアフターに社員モチベーションもUP！

弊社スタッフアルファコミュニケーションは自社の歴史に新たな1ページを刻んだ。それはオフィスの拡張である。弊社が企業理念として掲げる“ビジネスは接客業である”という信念を元にオフィスはお店のような空間であるべきという考えを表現した新オフィスは、来社されたお客様がリラックスしてお待ちいただける待合スペースの確保や、扉を開けた瞬間に全社員から笑顔あふれる挨拶を感じていただく事ができ、何よりも弊社の

元気を体感することができる。スペースは旧オフィスの約2倍、打合せルームが2部屋、会議室があり、応接室がこの度新しく設けられた。これまでは難しかった事務局業務や大人数での合同会議などにも対応できるインフラを、思い切って作り上げた形である。目に見えた環境の変化に、社員一同もこれまで以上にモチベーションを上げて業務に取り組んでいる。詳しくは、是非来社の際に確認を頂ければと思う。



STOPWATCH NEWS & TOPICS

スタッフアルファコミュニケーションの近況を皆様にご紹介いたします。
気になる情報を見つけたらすぐにお問い合わせを。

新年おめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り深く御礼申し上げます。2015年を振り返るに昨年末頃のメディアでは景気回復の傾向をしきりに謳い、気分的には好景気の予感を携えて年越しをした感はあるようです。弊社を取り巻く環境においては期初に打ち立てたビジョン「脱イベント宣言」が良い方向で進んで来たかと実感し始めております。「脱イベント」、これは何もイベント制作事業から撤退するということではなくイベントの前手の部分、すなわち広く販促に携わりイベントを超えたサービス業としての商品を持つていこうという「守備範囲の拡張」ということです。そしてお取引先各社様のお力で何とか昨年もこの方向を向いて来れましたこと、常にスタッフアルファにご期待いただき、社員、クルー含めてご愛顧いただきましたことを深く感謝しております。2016年は更なる新サービスを展開してまいります。ぜひ今年のスタッフアルファにもご期待ください。末筆ではございますが皆様のご健勝と2016年増々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



これが今のスタッフアルファのなかみです。 秋・冬の陣に向けて新人事体制！

スタッフアルファでは、下半期を迎えるにあたり人事異動を行った。今回は秋口から現場が集中する流通プロモーション部の強化が狙いである。特に今冬には、大型商業施設のオープンを控えており、春にオープンした施設と担当も別途必要になり増強が急務だった。この業務に向けて抜擢されたのは、法人ソリューション部に在籍していた鈴木である。鈴木はもともと入社当時より流通販促に興味をもっており、業務には自信をもっているようだ。そしてもうひとり9月まで同じ法人ソリューション部で「でまえ授業※本誌別記事参照」の渉外を担当していた外川だ。外川は9月までの契約社員であったが、

期間中の誠実な仕事ぶりが認められ今回の採用に至った。鈴木・外川が抜けた法人ソリューション部には、外川と同じく「でまえ授業」で渉外及びキャスト担当であった石田が、持ち前の明るさを活かした抜群の接客能力が目にとまり、制作サポートメンバーとして加入。同タイミングで管理部には菊地パートナーが採用された。また、永年ウエディングディスプレイ事業部に所属していた加々美が10月付で退職・独立し、新たに「リングリングファクトリー」を設立した。バルーンアーティストとしては弊社のディスプレイ部門で引き続き活動していく予定。ちなみに加々美の新事務所はスタッフアルファ社内である。

代表取締役					取締役会	
社長室		代表取締役 松山洋介 専務取締役 杉浦猛史 取締役 安藤裕之 取締役 阪本明裕 取締役 富田慎吾				
木村社員 木戸社員						
管理部	流通 プロモーション部	法人 ソリューション部	セールス プロモーション部	ウエディング・ ディスプレイ部	クルー・ マネジメント部	フェアリーズ
取締役 阪本部長 斎藤（パートナー） 菊地（パートナー）	取締役 安藤部長 熊本課長 加納社員 山崎社員 知野社員 鈴木社員 外川（契約社員）	取締役 富田部長 菊地課長 下重社員 石田（契約社員）	取締役 杉浦部長 堀 課長 大月チーフ 松永社員	取締役 松山社長 中山課長 大城社員 岩岸（パートナー） (2016年新卒入社予定)	取締役 松山社長 大平（課長代理） 松山社員 秋吉社員 田村（契約社員）	取締役 松山社長 中村課長 江澤社員 その他 パートナー 6名
※赤字は新規又は移動人事						

才気煥発

▽ロボットの人気止まらない。先日は展示会の会場レポートで人々の生活にいいよロボットが関わってくるという類のコーナーが展開されていた。人工知能の発達はめざましく、もはやちよとした人の悩みをスマホが答えてくれ、一人暮らしのパートナーに人型ロボットが重宝される時代に差し掛かってきたのが現実で、事実発売開始後飛ぶように売れているおしゃべりロボットがある。「鉄腕アトム」の時代も最

早夢ではないのではないかとさえ期待する。▽反面、人工知能が人類を脅かすと論じている科学者もいるそうで、こちらはまさに「ターミネーター」の世界を彷彿する未来予測である。▽当社も来期にロボット関係の仕事をお願いしているらしく、某社員が嬉々として企画に取り組んでいる。思えば数年前もロボットを特集したイベントをGWに実施し多くのお客様に喜んでいただけた。まさに恐竜の次はロボットだと

いわんばかりの「あたりネタ」である。しかしながら、今や無人でバスや自動車が安全に走行する時代。そう遠くない未来、今度はイベントの主役ではなくスタッフとしてロボットが活躍している時代がくるのではないだろうか。確実に受付業務をこなし、台本に沿って間違いなく視聴覚機材を操る…、そんなロボットたちに職を奪われはしないかと笑い話の中に一抹の不安がよぎるのは果たして考えすぎであろうか。